

きよたけみなみ にちなんきたごう
東九州自動車道(清武南IC～日南北郷IC)令和4年度開通予定!
～宮崎市と日南市が東九州道でつながります～

- 東九州自動車道は、九州東部の広域的な連携を図り、沿線地域への企業誘致及び観光振興、災害時における代替機能の確保等を目的とする道路です。
- このたび、きよたけみなみ清武南IC～にちなんきたごう日南北郷IC間(延長17.8km)において、令和元年6月にこのひら九平トンネルの覆工が完成したことや令和元年11月にてらやま寺山一号橋の上部工の製作が完了するなど、本線完成に係わる全ての大規模構造物の工事工程の目処が立ちました。
- 加えて、よしのもと芳ノ元トンネル周辺の地すべり対策において、これまで頭部排土工や地下水排除工等の各種対策を実施しており、さらに、令和元年8月の「東九州自動車道きよたけ(清武～きたごう北郷)トンネル施工検討会(以下、検討会)」において、これまでも地すべり変位が収束傾向にあること、トンネルの覆工に変状が見られないこと等を踏まえ、本線完成までに同様の傾向が継続される場合には、開通が可能であることが了承されたところです。
- これらを受け、残る工事工程を精査した結果、引き続き、よしのもと芳ノ元トンネル周辺の地すべり対策が順調に進捗した場合※、

清武南IC～日南北郷IC間(延長17.8km)は、令和4年度に開通見通し

となりましたので、お知らせします。

- なお、よしのもと芳ノ元トンネル周辺の地すべり対策について、地すべり変位等のモニタリングを継続し、検討会等を通じて助言を頂きながら、一日も早い開通に向け、工事を進めてまいります。

※地すべり変位が収束すること、滑動に対する安全性が確保されていること、トンネル覆工に変状が見られないこと等
なお、地すべり変位が収束しない場合やトンネル覆工に変状が見られる場合等、開通見通しに影響が出る場合には、別途発表をいたします。

- 今回の開通により、以下のストック効果が見込まれます。

「住民生活の利便性が向上」

「観光振興による地域活性化を支援」

「企業誘致や雇用創出を支援」

「住民の安心できる生活を実現」

【問い合わせ先】 国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

技術副所長 いがり めいと 猪狩 名人

こはら まさと 調査第二課長 古原 正人

東九州自動車道(清武南IC～日南北郷IC) 整備状況

【位置図】



きよたけみなみ
清武南IC～
にちなんきたごう
日南北郷IC
延長 17.8km
令和4年度
開通予定

【標準断面図】



【東九州自動車道(清武南IC～日南北郷IC)整備状況】

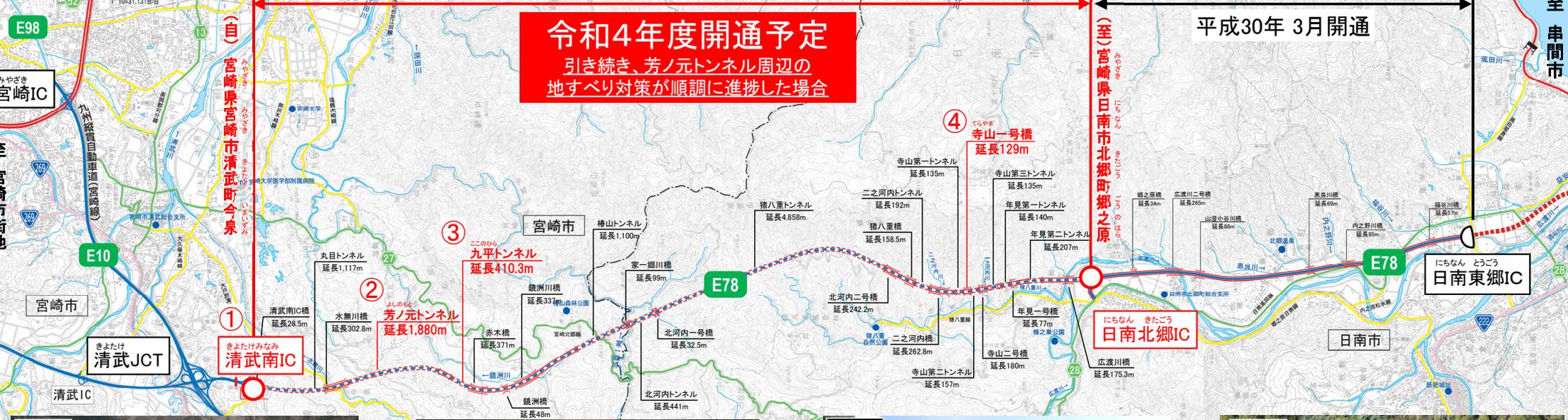
工事箇所	全数	完成	現状
橋 梁	14橋	13橋	R1.11 寺山一号橋 上部工製作完了
トンネル	12本	12本	R1.6 九平トンネル 覆工完了

東九州自動車道 清武南IC～日南北郷IC 延長17.8km

日南北郷IC～日南東郷IC 延長9.0km

令和4年度開通予定
引き続き、芳ノ元トンネル周辺の
地すべり対策が順調に進捗した場合

平成30年 3月開通



▲①【清武南IC付近】



▲②【芳ノ元トンネル坑内】



▲③【九平トンネル終点側坑口】

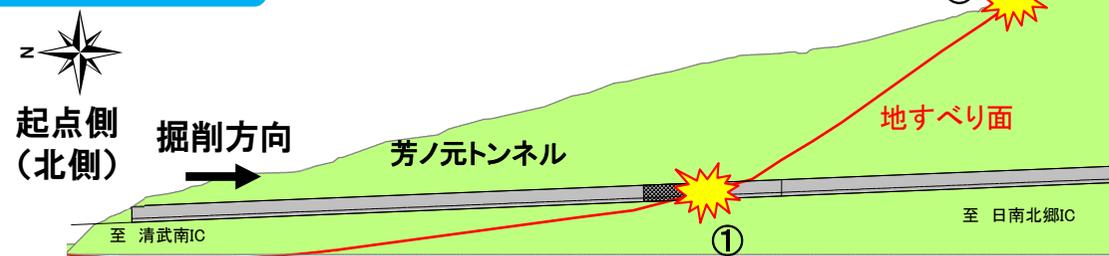


▲④【寺山一号橋】

東九州自動車道(清武南IC～日南北郷IC) 芳ノ元トンネル周辺の地すべり対策等

- 芳ノ元トンネル掘削中に地すべりが発生し、地表面のひび割れやトンネルの変状等がH21.6に発生
- 「東九州自動車道(清武～北郷)トンネル施工検討会(以下検討会)」(有識者で構成)をH22.11に設置し、地すべり対策(頭部排土工・地下水排除工)等を実施中
- 地すべりの安全性を確実に向上させるため、引き続き、地すべり対策を推進し、検討会でその効果・検証を実施予定

地すべり状況 (H21.6)



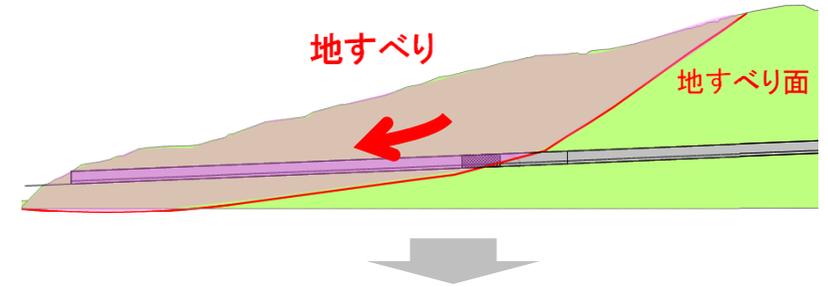
① トンネル内の変状



② 地表面のひび割れ

地すべり対策の考え方

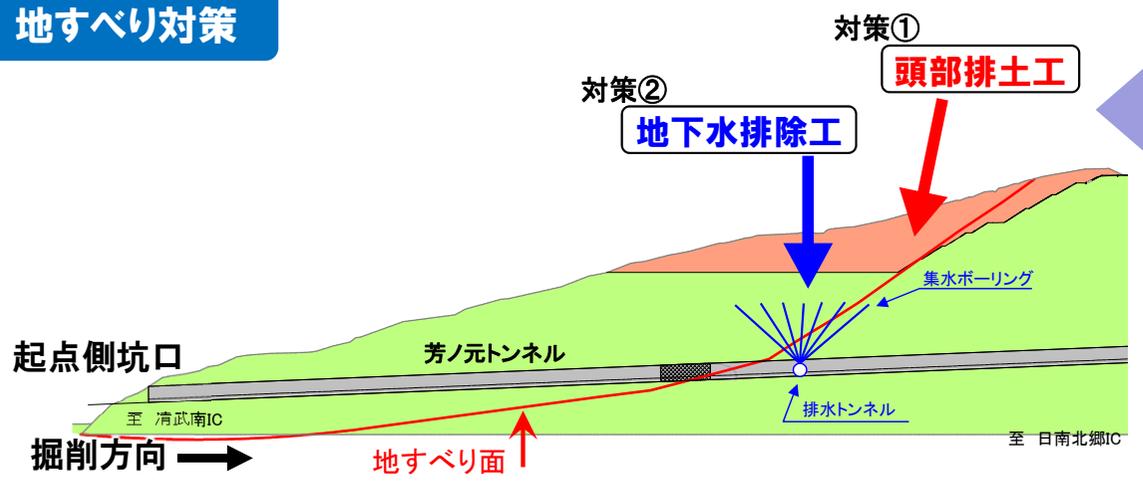
地すべり面より上部の土塊の重量等により地すべり発生



【芳ノ元トンネルでの対策内容】

- 上部の土塊重量の軽減 → 頭部排土
- 地すべりブロックの水位を低減 → 地下水排除工

地すべり対策



対策等による安全性の判定の指標

- ①地すべり変位
- ②トンネル覆工の変状
- ③地下水位の変化

現状について、

- ①地すべり変位が収束傾向にあります
- ②トンネル内空と天端沈下の変位が見られません
- ③過去を大きく上回る水位上昇がありません

東九州自動車道(清武南IC～日南北郷IC) 頭部排土の現状



頭部排土の進捗状況

全体計画：114万 m^3
進捗状況：55万 m^3 (約48%)
(R1.11末現在)

※安全性を確保しつつ、地下水位の低下等を見極めながら、今後、全体計画量は見直す予定

至 日南北郷IC

東九州自動車道(清武～北郷)トンネル施工検討会の概要

1.検討事項

芳ノ元トンネルやその周辺の地すべりに対して、以下に関して検討・審議

- 地すべり対策
- トンネル構造及び施工方法
- トンネル掘削再開の妥当性
- その他検討会において必要と認めた事項に関すること

2.開催経緯

○芳ノ元トンネルの変状(H21.6月)後の、H22.11に設立および第1回検討会開催

○それ以降、10回を超える議論を踏まえ、R1.8月には、第13回検討会を開催し、

- ・地すべり対策(頭部排土工・地下水排除工)の今後の進め方
- ・地すべり・芳ノ元トンネルの現況の安全性
- ・本線の主要な構造物の完成時点における安全性

などについて議論を実施

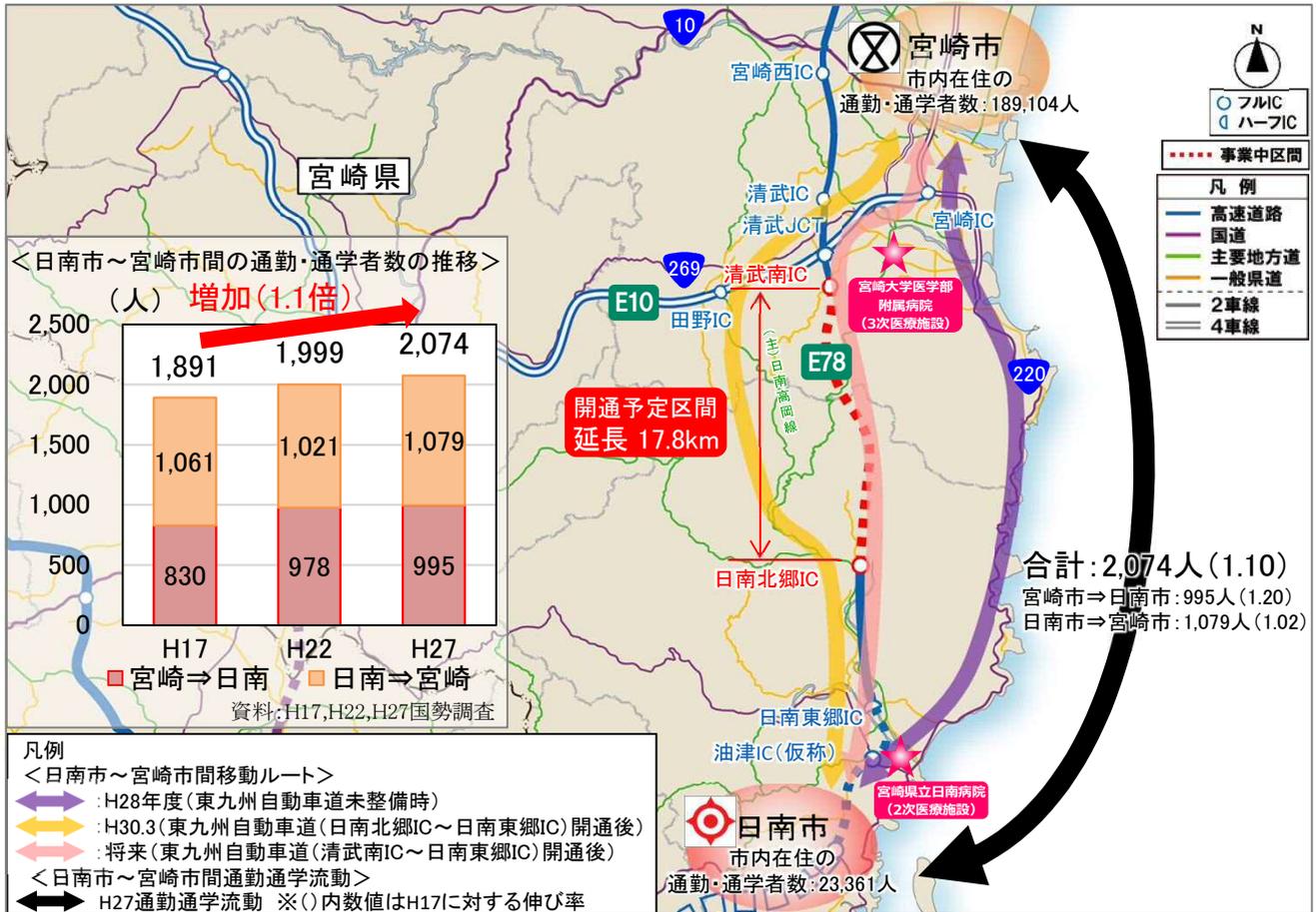
3.委員

委員長	横田 漠	宮崎大学 名誉教授
委員	真下 英人	一般社団法人日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 所長
	日下 敦	国立研究開発法人土木研究所 道路技術研究グループ トンネルチーム 上席研究員
	杉本 宏之	国立研究開発法人土木研究所 土砂管理研究グループ 地すべりチーム 上席研究員
	七澤 利明	国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究所 構造・基礎研究室 室長
事務局		国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所等

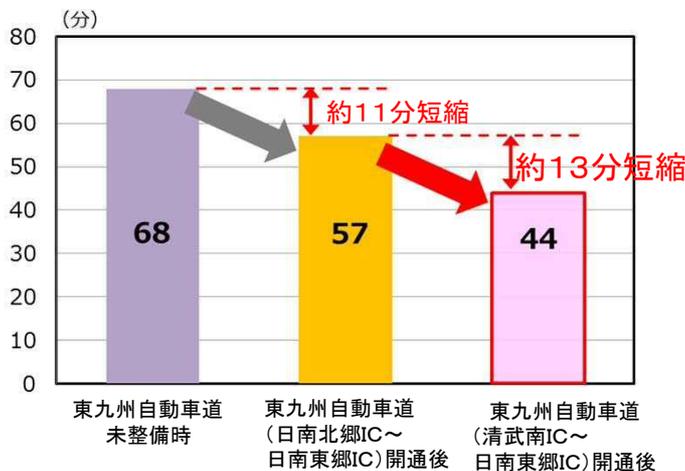
所要時間短縮

住民生活の利便性を向上させます

- 東九州自動車道清武南IC～日南北郷IC間の整備により、宮崎市～日南市間で約13分の所要時間短縮が見込まれます。
- 宮崎市～日南市間の約2,000人の通勤通学者の利便性向上や、更なる交流人口の増加が期待されます。
- また、日南市からの3次医療施設への輸送時間の短縮による患者への負担軽減、救命率の向上や、日南市の医療機関での医師・職員の確保が期待されます。



日南市役所～宮崎市役所間の所要時間の変化

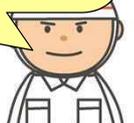


※所要時間は市役所間で算出。
未整備時のルートは、主に国道220号を利用
東九州自動車道は、規制速度80km/hを用いて算出
資料: ETC2.0プローブデータ(H29.3～H30.3(平日、12h平均))

【宮崎県立日南病院のコメント】

- 平成31年4月から串間市民病院での分娩・入院受入れ中止の影響もあり、役割は高まっています。
- 職員のうち約100名が宮崎市から通勤しています。東九州道の開通により通勤時間が短くなれば、労働環境が改善し、医師・職員の確保にも繋がります。

資料: R1.12 ヒアリング結果より



【日南市消防本部のコメント】

- (主)日南高岡線を利用して、3次救急医療施設である宮崎大学附属病院へ救急車による患者搬送が平成30年に22件あり、東九州道が開通することにより、搬送時間が短縮され、救命率の向上につながります。

資料: R1.12 ヒアリング結果より



観光振興 観光振興による地域活性化を支援します

- 日南市の観光入込客数は県内第3位であり、鶴戸神宮をはじめとして、周辺には多くの観光資源に恵まれています。
- また、クルーズ船が寄港する油津港においては、寄港回数が近年大きく増加しています。
- 東九州自動車道の整備により日南市内の観光施設へのアクセス性が向上し、時間的な余裕ができる事による周遊観光客の増加が期待でき、油津港からの90分圏域も約15%拡大することで、観光振興による地域活性化が期待されます。

■東九州道周辺の主要観光地域とランドツアー状況

<クルーズ船の主なバスツアー訪問先と油津港からの時間圏域>



■鶴戸神宮【日南市】



■飫肥城址【日南市】



資料: 時間圏: プロブデータ H28.3~H29.2 平日12h平均値

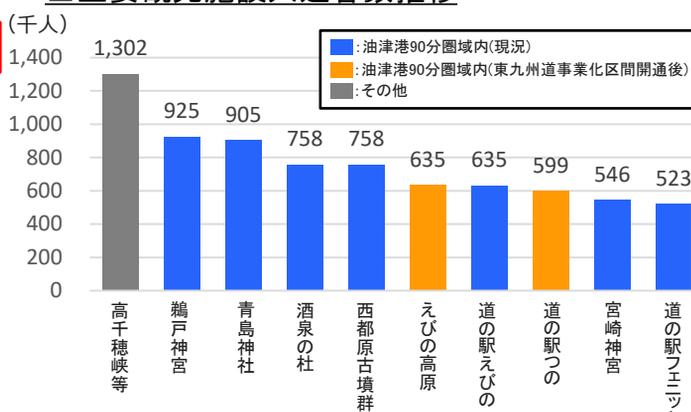
※90分圏(バスツアー片道所要時間目安)

■日南市観光客入込客数推移



資料: 宮崎県観光入込客統計調査結果

■主要観光施設入込客数推移



資料: 平成29年宮崎県観光入込客統計調査結果

【日南市の観光会社のコメント】

- 日南北郷～日南東郷の開通により、時間短縮や運転手の負担軽減を実感しています。
- 外国人観光ツアー(航空機利用)は、宮崎空港→鶴戸神宮→宮崎道→桜島→鹿児島空港が大半です。今回開通区間が繋がれば、鶴戸神宮→飫肥城→東九州道利用等の日南市内回遊コースが期待できます。

資料: R1.12 ヒアリング結果より

【ツアー会社のコメント】

- 現在、油津港からのツアーは、片道90分を目途に、観光地を3箇所程度にして、時間に余裕がなく組んでいます。
- 東九州道が整備されれば、えびの高原や高千穂牧場まで行けたり、ツアー先での滞在時間を長く取れ、時間的に余裕のあるツアーが組めることが期待できます。

資料: R1.12 ヒアリング結果より

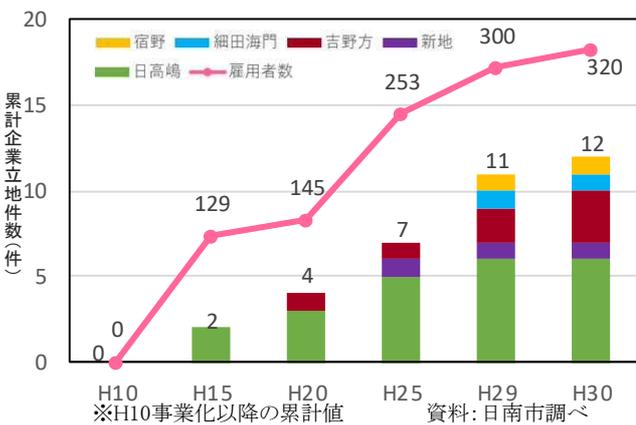
企業進出 企業誘致や雇用創出を支援します

- 東九州自動車道の整備を見据えて、日南市には平成10年以降に新たに12社が進出し、320名の雇用が創出されています。
- 平成30年3月の日南北郷IC～日南東郷IC間の開通後も新たな進出が決まるなど企業の関心が高まる中、日南市では新たな工業団地造成が検討されており、更なる企業進出や雇用創出が期待されます。

■東九州自動車道沿線地域の工業団地等の位置図



■工業団地の企業立地件数及び雇用者数の推移



吉野方工業団地

- ・H30.7運送業者が企業進出
- ・新規雇用者予定20名
- ・総面積16千㎡のうち2千㎡が分譲中(R1.12時点)

運送業者進出

日高嶋工業団地

- ・H29年の企業進出で完売
- ・H29.3運送業者が企業進出
- ・新規雇用者予定数21名
- ・「日南東郷IC」に近いため輸配送サービスの向上に期待

運送業者進出

【吉野方工業団地への進出した (H30.7) 運送会社のコメント】

- 本社は大分県中津市。これまでは宮崎県北地域までを営業範囲としていましたが、南九州地域への拡大を目指して拠点営業所の設置を検討していました。
- 東九州道の整備が進み、一部区間(日南北郷～日南東郷)が開通したこと、地元での人材確保がしやすいことから、日南市への進出を決めました。今後6年間で20人の雇用を予定しています。

資料:H30.7 ヒアリング結果より

【日南市商工政策課のコメント】

- まとまった土地があれば進出したいという企業の声はよく聞きます。
- 日高嶋工業団地の完売もあり、東九州道ICの付近に新たな工業団地の造成も検討中です。

資料:R1.12 ヒアリング結果より

防災力向上 住民の安心できる生活を実現させます

- 国道220号には事前通行規制区間が存在し、過去15年間で67回の全面通行止めを行っており、宮崎市～日南市間の通勤・通学、救急医療活動など住民生活に支障をきたしています。
- 東九州自動車道の整備により、災害時の通行止めの回避や輸送ルート確保が図られ、平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するための道路ネットワークが構築されます。



資料: 宮崎県「津波浸水想定」の設定について(H25.2.19)
 ※事前通行規制区間(折生迫～内海間)は、平成27年度より宮崎県へ移管。

▼国道220号における規制発生状況

	規制理由	規制回数	備考
国道220号	災害による通行規制(全面通行止め)	14回	崩土崩壊、落石等
	事前通行規制(全面通行止め)	53回	連続雨量170mm以上
	合計	67回	年平均約4回/年

※通行規制はH16～H30の15年間の実績 資料: 宮崎河川国道事務所

【日南市消防本部のコメント】

○迂回路は遠回りする(主)日南高岡線のみです。東九州道が整備されれば通行止めもなくなり、災害時の輸送ルートとして期待できます。

資料: R1.12 ヒアリング結果より



【住民のコメント】

○国道220号の土砂崩れのたびに不便を強いられています。

資料: R1.12 ヒアリング結果より

